

## バルセロナから世界へ、すべての平和運動と未来を作る人々へのアピール：私たちの世界を新たに想像しよう—平和、正義、気候のための行動

世界は、歴史的にみて比類のない岐路に立っている。核、生態系と社会の破局の淵へと進むのか、あるいは、共通の、公正で、非軍事化され、環境的に持続可能な未来を開くのか、の選択である。

14,000 発の核兵器が生存を脅かし、核大国間の緊張が高まるなか、核兵器が実際に使用される危険が高まっている。一方で 2 兆ドルの軍事支出が毎日、人を殺している。小型兵器は日々膨大な数の死者を生み出す大量破壊兵器となっている。

地球の温暖化は、何百万人もの人々の生活を危険にさらしている。すべての生命の基盤である環境は、破壊され、燃やされ、毒され、消滅させられている。文明は危機に瀕している。

何億人もの人々が飢えている。大規模なスラム街では大勢の人々が将来への希望を持たずに貧困にあえぎ、何十億人もの人々が職を失い生きるために必死になっている。貪欲、人種差別、性差別によって社会的破局が拡大している。

私たちは、このような危険な現実を容認したり、それに加担したりすることはできない。

### 私たちの世界とその未来を新たに想像しよう

1955 年に発表された「ラッセル・アインシュタイン宣言」を再び思い出し、心に刻もう。「我々は、人間として、人間に訴える。自分の人間性を思い起こし、それ以外のことは忘れよ。それができれば、新たなパラダイスへの道が開かれる。できなければ、普遍的な死のリスクが待ち受けている」。

私たちは無力ではない。地球を救い、生命を肯定する未来を作ることができる。それは私たちの手の中にあり、世界中の人々の手の中にあるのだ！私たちは厳しい選択に直面している。核兵器の使用と威嚇・軍拡競争で平和を守ろうとするのか、あるいは核兵器のない世界の実現と軍縮で平和を達成するのか。正しい選択を行うことは私たちの責任である。核兵器禁止条約の発効は、私たちの大きな成功である。そして今、気候危機から地球を救おうと世界中で多くの人々が、特に青年たちが立ち上がっている。彼らは私たちの未来にとって最大の希望である。

戦争は自然現象ではない。人間が計画し、引き起こしているのだ。人間はすべての戦争を終わらせ、戦争の制度を廃止し、すべての核兵器を廃絶することができる。それは私たちの責任である。

国際紛争は国連憲章と国際法に基づき平和的手段で解決するという原則は厳格に守られねばならない。

利潤、貪欲、そして日々の環境への無関心が、世界の美しさと生命を生み出す可能性を破壊している。私たちはこの利潤システムを克服し、共に、環境的に公正な社会を作ることができる。経済は人々のためにのみ奉仕せねばならない。もうひとつの、より良い世界は可能だ。人々がより幸せな生活を送り、資源をより儉約して使い、自然と調和して生きる。これが私たちの責任である。

社会正義は、人類の古来からの希望であり、権利であり、実現可能である。公平に分配されれば、すべての人に十分なものが存在する。破壊的な競争や、特権階級や権力者の思慮のない残虐行為は許されない。あらゆる違いや国境を越えて連帯して生きることが、すべての人に正義をもたらすのである。それが私たちの責任である。

ジョン・レノンとオノ・ヨーコがああ聖なる歌でよびかけたように、新たに想像しよう。想像しよう！

世界の平和、グローバルな正義、生命を維持する環境をつくることは可能だ。私たちはそれを実現することができる。

私たちが必要とし、私たちにふさわしい世界は、天からマナ（人智を超越した力）として降ってくるわけではない。

私たちは未来のために活動し、組織化せねばならない -- 何度でも、共同して、あらゆる境界を越えて、連帯して。参加型の民主主義は、正義と変革の息吹である。よって私たちは、あらゆる形態の独裁主義と右翼的な抑圧的急進主義を断固として拒否する。

私たちは、この課題に次の方法を通じて立ち上がる。

世界中の平和運動を強化し、核兵器のない、戦争、不正義、汚染のない世界をめざす壮大な共同行動を展望し、組織する。

変革と創造と生存のための強力な勢力である社会運動、労働組合、宗教コミュニティと団結して行動する。

私たちは、世界の政治家たちに訴える。旧態依然とした思考と依存をやめよ。平和、軍縮、正義、そして気候のために、これまでにないほど緊急に、包括的に行動せよ。

私たちの圧力を増大させよう！私たちの行動こそが決定的なのだ。

**私たちの未来を新たに想像しよう！**